

＜ 商 業 ＞ 科 学 習 シ ラ バ ス

科 目	簿記	学年・類型	2年生・ビジネス	単位数	2	教科書	はじめての簿記 (ネットスクール出版)			
学習の到達目標		1 簿記に関する基本的なしくみと技術を理解し、その基本的な仕組みについて理解させる。 2 適正な会計処理を行う能力と態度を育てる。								
評価の観点	A 関心・意欲・態度	B 思考・判断・表現	C 技能	D 知識・理解						
評価の内容	個人企業の簿記に関心を持ちその知識と技能の習得を目指し意欲的に取り組むとともに、企業において日常的に発生する取引を適正に会計処理が行えるか。	様々な会計処理や記帳法について自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活かし適切に判断し創意工夫する能力を身に付けているか。適切な会計処理を行う能力を表現できるか。	個人企業における簿記に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、いろいろな場面において適正な会計処理が行えるか。	個人企業における簿記に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、簿記の基本的なしくみについて理解しているか。						
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動への参加姿勢や発言内容、態度。 予習や復習、課題への取組状況 ノート、プリント類 長期休業中課題 	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動への参加姿勢や発言内容、態度。 予習や復習、課題への取組状況 ノート、プリント類 	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動への参加姿勢や態度。 演習や実習への取組状況 ノート、プリント類 単元テスト、検定問題 定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動への参加姿勢や態度。 演習や実習への取組状況 ノート、プリント類 単元テスト、検定問題 定期考査、検定試験 						
学期	月	単元名・小単元名	学 習 の 指 導 内 容				評 価 の 観 点			
							A	B	C	D
1 学 期	4	簿記の自己紹介	<ul style="list-style-type: none"> 簿記の意味と目的を明らかにして、記帳の重要性を理解させる。 				◎		○	○
		資産・負債・資本 自分貸借対照表を作ろう	<ul style="list-style-type: none"> 資産・負債・資本の意味を明らかにし、相互関係を理解する。 貸借対照表の意味を理解し、作成方法を習得する。 				○	○	○	○
	5	収益・費用 自分損益計算書を作ろう	<ul style="list-style-type: none"> 収益・費用の意味を明らかにし、純損益を計算する方法を理解する。 貸借対照表の意味を理解し、作成方法を習得する。 				○	◎	○	○
		勘定と口座への集計	<ul style="list-style-type: none"> 取引により、資産・負債・資本が増減することを理解する。 取引を分解して、勘定に記入する方法を理解・習得する。 				○	○	◎	○
	6	仕訳ってなに 仕訳帳と総勘定元帳	<ul style="list-style-type: none"> 仕訳の意味を明らかにし、各種の取引の仕訳を習得する。 仕訳を勘定口座に転記する方法を理解させ、習得させる。 仕訳帳の形式・記入法を理解させ、記帳を習得する。 総勘定元帳の意味を明らかにし、仕訳帳からの転記の方法を理解する。 				○	○	◎	○
試算表の作成		<ul style="list-style-type: none"> 試算表の役割・種類・特徴を明らかにし、作成方法を理解する。 				○	○	◎	○	
2 学 期	8 ・ 9	現金・当座預金 掛取引、返品と値引き 商品売買の諸費用 手形 有価証券	<ul style="list-style-type: none"> 決算の意味、必要性について理解する。 現金に関する記帳方法と現金出納長の記帳方法について理解する。 分記法の復習から3分法による商品売買の記帳方法を理解する。 掛け取引の意味と売掛金勘定と買掛金勘定の記帳方法を理解する。 手形の種類を明らかにし、約束手形のしくみと記帳方法を理解する。 有価証券の意味と計算方法、購入と売却した時の記帳方法を理解する。 固定資産の意味と種類を明らかにし、固定資産の記帳方法を理解する。 売掛金・買掛金・受取手形・支払手形以外の各種の債権・債務について、その記帳方法や違いを理解する。 各種の債権・債務の記帳方法を習得する。 				○	◎	◎	○
		その他の債権債務	<ul style="list-style-type: none"> 固定資産の意味と種類を明らかにし、固定資産の記帳方法を理解する。 				○	○	◎	○
	10	固定資産の取引	<ul style="list-style-type: none"> 個人企業の資本の元入れ、引き出しなどの記帳方法を理解する。 引出金勘定を用いた場合の記帳方法を理解する。 				○	◎	○	○
		決算手続き	<ul style="list-style-type: none"> 3分法による商品売買に関する勘定の整理、貸し倒れの見積もり、減価償却の記帳方法を理解し、記帳方法を習得する。 				○	◎	○	○
	11	精算表 伝票会計 財務諸表	<ul style="list-style-type: none"> 8桁精算表の意味を明らかにし、作成方法を習得する。 証ひょうと3伝票制伝票の意味と役割を明らかにする。 決算整理を含む決算手続き全体の流れ、記帳方法を通じて学習し、損益計算書と貸借対照表が作れるようにする。 				○	○	◎	○
伝票会計		<ul style="list-style-type: none"> 3分法による商品売買に関する勘定の整理、貸し倒れの見積もり、減価償却の記帳方法を理解し、記帳方法を習得する。 				○	◎	○	○	
3 学 期	1	総合問題演習	<ul style="list-style-type: none"> 学習した取引の記帳、決算の学習内容を総合的に復習する。 				○	○	○	◎
		伝票会計	<ul style="list-style-type: none"> 仕入伝票・売上伝票の記票の方法を理解する。 5伝票の集計と転記の方法を理解する。 				○	○	◎	○
	2	決算手続き	<ul style="list-style-type: none"> 費用・収益の繰り延べ・見越しの意味とそれぞれの記帳方法を理解、習得する。 				○	○	◎	○
		総合問題演習	<ul style="list-style-type: none"> 学習した伝票の学習内容を総合的に復習する。 				○	○	○	◎
学習のポイント		生徒の習熟度により、個別指導・長期休業中・習熟度別（教員2名）授業を実施し、基礎から発展レベルまで対応する。 授業のなかで、ノートや演習プリントを確実に仕上げる。自宅で復習をし、分からない内容は質問を受ける。 生徒が関心・意欲を持ち、基礎的・基本的な知識・技能を身に付けるために、分かりやすく楽しい授業を行う努力をする。								